

施工説明書



洋風便器 (床上排水)

(Y)BC-Z30P 系

安全のために守ってください！

便器を取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

- | | |
|-----------|--|
| 警告 | 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。 |
| 注意 | 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。 |
| | 「注意しなさい！」
(必ずお読みになり、記載事項をお守りください。) |
| | 「してはいけません！」
(一般的な禁止記号です。) |
| | 「指示通りにしなさい！」
(一般的な行動指示記号です。) |

取付業者さまへ

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

！警告

- | | |
|--|---|
| | 本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。
(100V 電源使用の場合) |
| | 絶対に分解や改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。
(100V 電源使用の場合) |
| | ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※ 感電の原因になります。
(100V 電源使用の場合) |
| | バスルーム内など、湿気の多い場所には、設置しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。
(100V 電源使用の場合) |
| | 電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
(100V 電源使用の場合) |
| | ガタついているコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。
(100V 電源使用の場合) |
| | AC100V 以外では使用しないでください。
● タコ足配線など、定格をこえる使い方はしないでください。
※ 火災の原因となります。
(100V 電源使用の場合) |
| | 電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
※ 感電・火災の原因になります。
(100V 電源使用の場合) |

！注意

- | | |
|--|---|
| | 陶器は割れものです。
● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。 |
|--|---|

- | | |
|--|---|
| | 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。 |
| | お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。 |

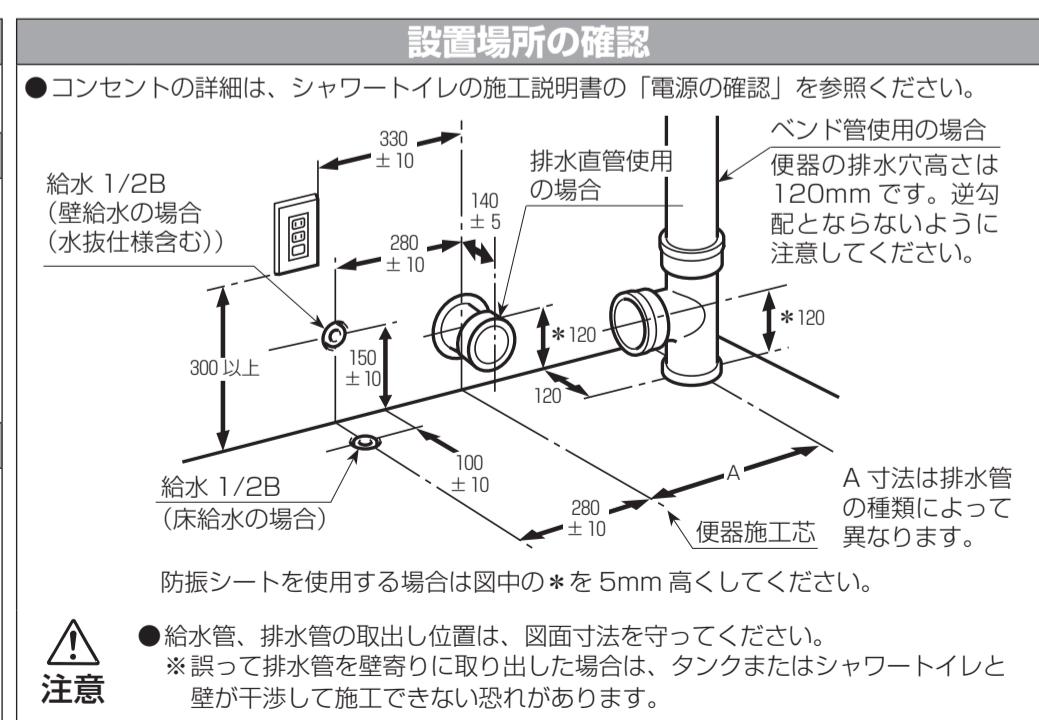
施工前のご確認

開梱時の注意	
	ディストリビューターの保護キャップは、タンクまたはシャワートイレ取付け直前に必ず外してください！
※ 施工前に保護キャップを外してしまうと、接続パッキンにゴミが付着し漏水の原因になります。	
※ 保護キャップを外し忘れる、タンクまたはシャワートイレと正常に施工できず漏水の原因になります。	

保護キャップ
 ディストリビューター
 接続パッキン

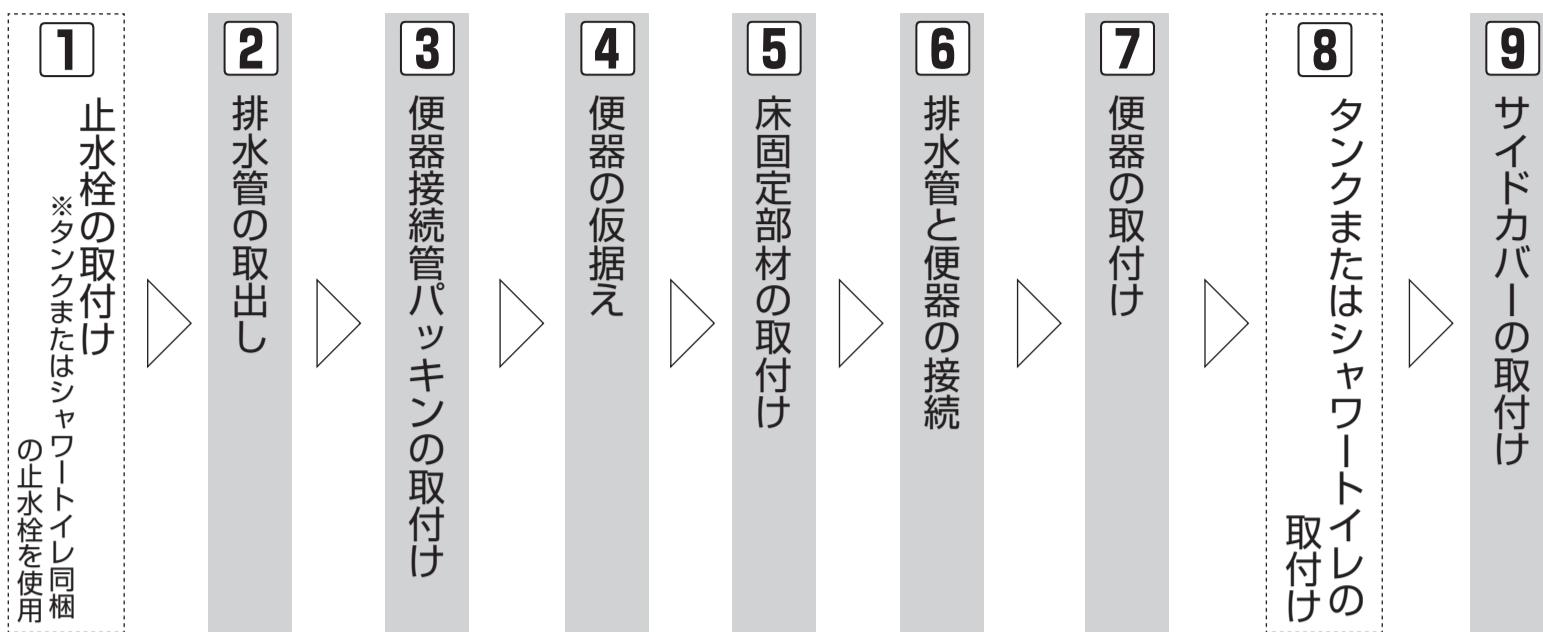
部品の確認（梱包内容を確認してください。）					
便器	便器接続管パッキン	サイドカバー	施工説明書	施工用敷材	
 便器：1台	 便器接続管パッキン：1個	 サイドカバー：左右各1枚 (同梱されない場合があります)	 施工説明書：1部	 施工用敷材：1個	
ねじ類					
床固定用木ねじ類 ○○ 化粧キャップ : 2 個 ○○ 床固定用木ねじ : 2 本 (φ 6.2 × 63) ○○ ワッシャー : 2 個 (φ 18)	AY 仕様を手配の場合 AY-55D : 2 本セット × 1	固定用木ねじ : 2 本 (φ 6 × 40) ワッシャー : 2 個 (φ 23) AY 仕様を手配の場合 AY-23W : 1 本 × 2	固定用粘着材 : 1 個 床固定部材 : 1 個 施工型紙 : 1 枚	固定部材セット	

使用する水について	
● シャワートイレを使いの際は同梱している施工説明書に記載の水質・水圧条件で接続ください。	
止水栓について	
● タンクまたはシャワートイレに同梱されている止水栓を使用します。	
● 標準施工図にしたがって、給水管を取り出してください。	
● 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ (LF-7T を推奨) などでカバーをしてください。	
● 通水時に異物があり、止水不良となる恐れがあります。	
● 止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調整してください。	
● 給水管はぐらつかないように、しっかりと固定してください。	
● 漏水、給水管の破損の原因になります。	
排水高さについて	
● 床上排水 120mm です。	
● 排水位置が指定の位置であることを確認してください。	
● 排水管が壁寄りに取り出されている場合は、タンクまたはシャワートイレと壁が干渉して施工できない恐れがあります。	
● 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。	
● 异物があり、洗浄不良となる恐れがあります。	

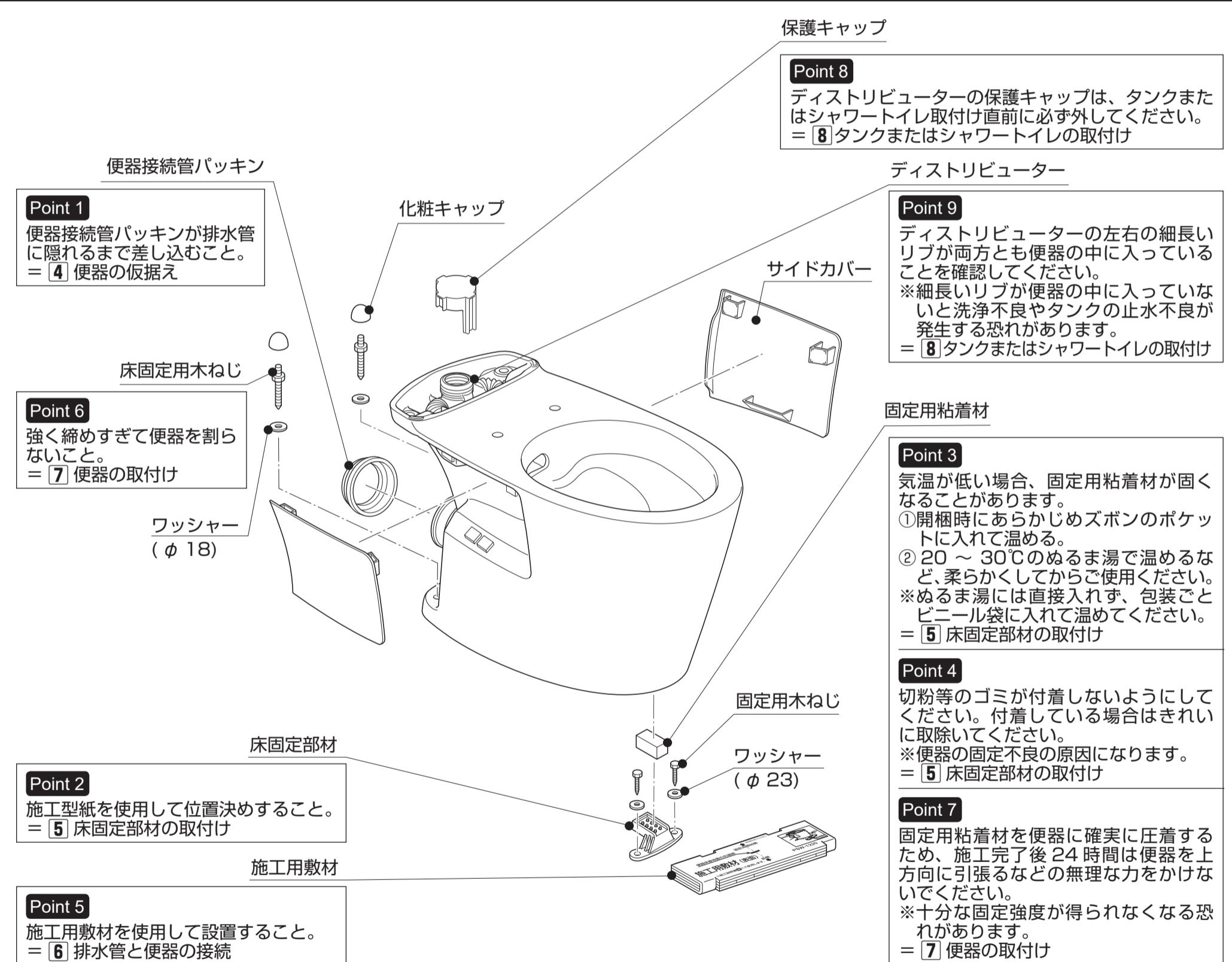


施工手順

□は本書を、□はタンクまたはシャワートイレ同梱の施工説明書に従って正しく取付けてください。



施工のポイント



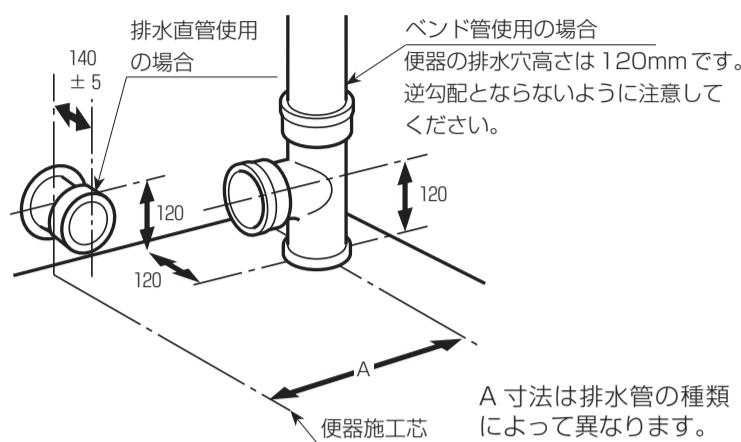
施工方法

1 止水栓の取付け

2 排水管の取出し

排水管を施工寸法通りに取り出す。

排水直管 (CF-11P)、ベンド管 (CF-11B) は別途用意してください。



△注意

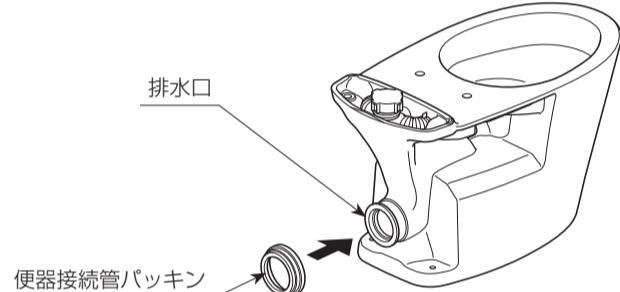
●排水管は逆勾配とならないようにしてください。

※逆勾配になった場合、洗浄不良の原因になります。

●防振シートを使用する場合は、防振シートを使用しない場合より排水高さを 5mm 高くしてください。

3 便器接続管パッキンの取付け

便器の排水口に便器接続管パッキンを取り付ける。



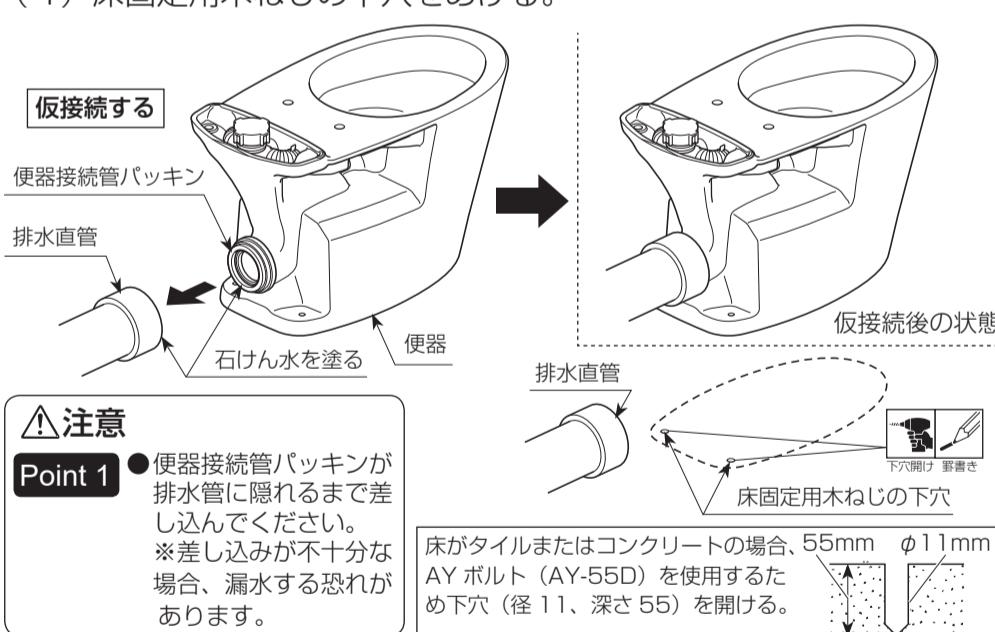
4 便器の仮据え

(1) 便器施工芯を合わせて排水管に便器を仮接続する。

(2) 床固定用木ねじの下穴をけがく。

(3) 排水管から便器を取り外す。

(4) 床固定用木ねじの下穴をあける。

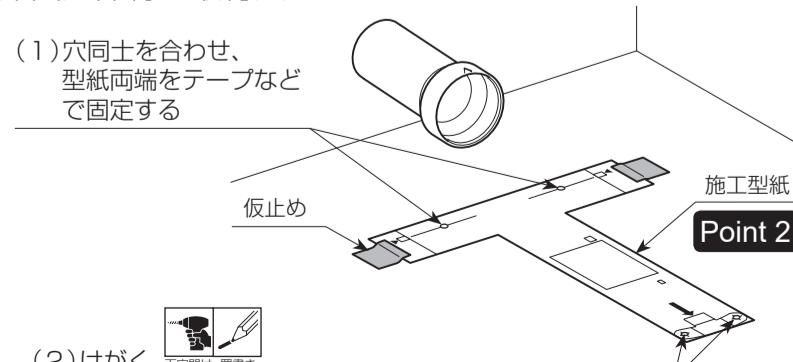


5 床固定部材の取付け

(1) 型紙を固定する。

床固定用木ねじの下穴と型紙の穴を合わせて型紙両端を仮止めします。

(2) 床固定部材の取付穴をけがく。



6 床固定部材の取付け

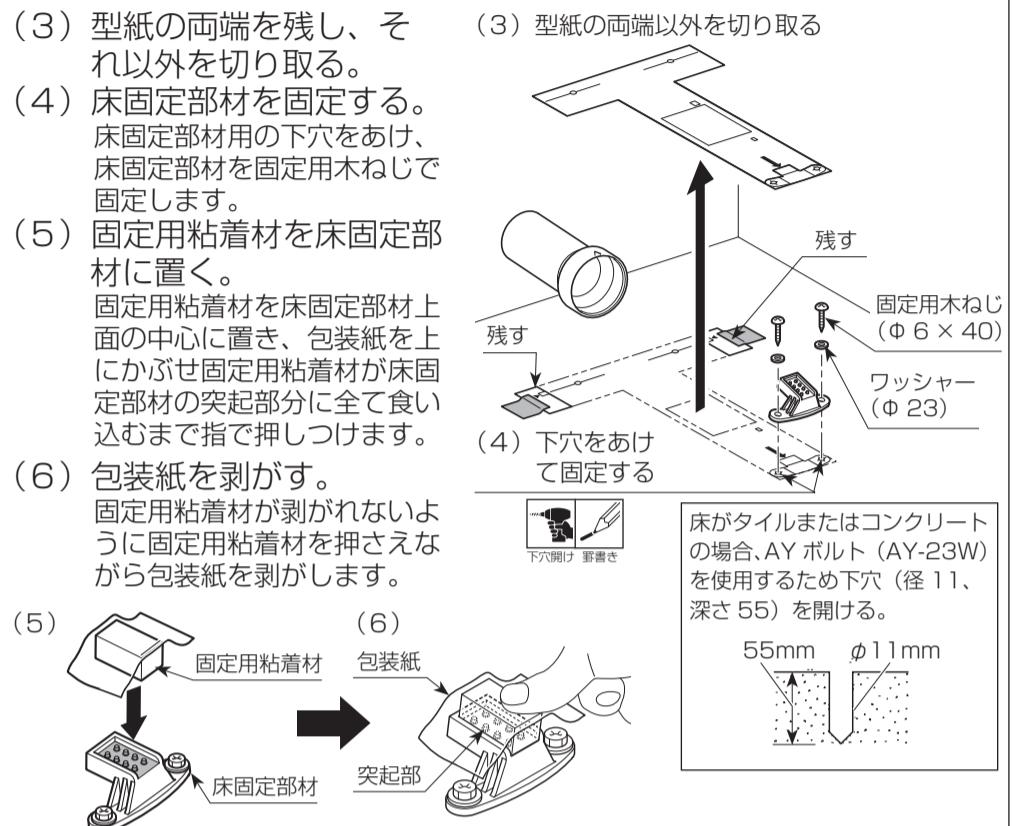
△注意

Point 2 ●必ず施工型紙を使用して施工してください。

※便器の固定不良や漏水の原因になります。

●テープは市販のマスキングテープ等を使用してください。

※テープの粘着力が強すぎると床を傷つける恐れがあります。



△注意

●固定用粘着材に水気や汚れが付かないようにしてください。

※便器の固定不良の原因になります。

Point 4 ●床固定部材に切粉等のゴミが付着しないようにしてください。

付着している場合はきれいに取り除いてください。

※便器の固定不良の原因になります。

Point 3 ●気温が低い場合、固定用粘着材が固くなることがあります。

①開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。

②20 ~ 30°C のぬるま湯で温めるなど、柔らかくしてからご使用ください。
ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて温めてください。

●防振シートを使用の場合は、防振シートの施工説明書を参照して施工してください。
※固定不良となる可能性があります。

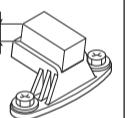
●床固定部材の全ての突起部が粘着材に食い込む位置で押しつけてください。

※固定用粘着材の位置ずれやはみ出しがあると、固定不良となる可能性があります。

●床固定部材に粘着材を押付ける力は粘着材が突起に食い込む程度とし、強く押付けすぎないようにしてください。

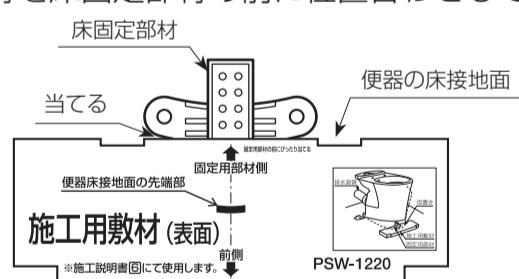
※押付けすぎると固定不良となる可能性があります。

目安の高さ
約 15mm



6 排水管と便器の接続

(1) 施工用敷材を床固定部材の前に位置合わせして置く。



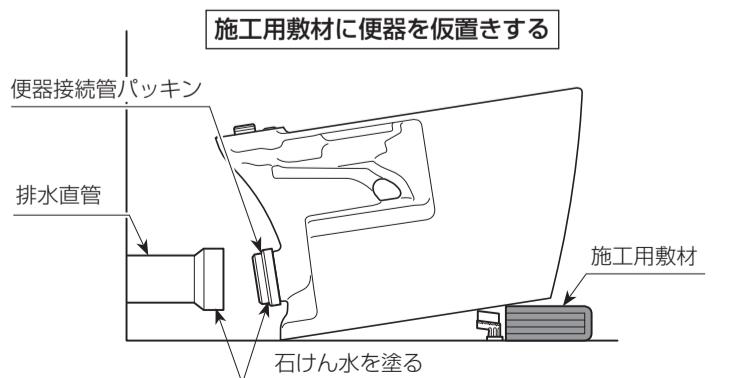
△注意

Point 5 ●必ず施工用敷材を使用してください。

※使用しない場合、排水管への差し込み時に固定用粘着材が便器と当たって脱落し、固定不良となる可能性があります。

(2) 施工用敷材の上に便器を仮置きする。

固定用粘着材と便器が接触しないように便器を浮かせて移動させます。



6 排水管と便器の接続

(3) 便器排水口を排水管に差し込む。

便器の姿勢を保ったまま、便器の固定穴が型紙の床固定穴位置に合うまで差し込みます。



△注意

Point 1 ●便器接続管パッキンが排水管に隠れるまで差し込んでください。

※差し込みが不十分な場合、漏水する恐れがあります。

(4) 床固定用木ねじの下穴と便器の固定用穴とが合っていることを確認する。

(5) 便器前方を少し持ち上げながら、施工用敷材を取り除き、便器前方をゆっくり下ろす。



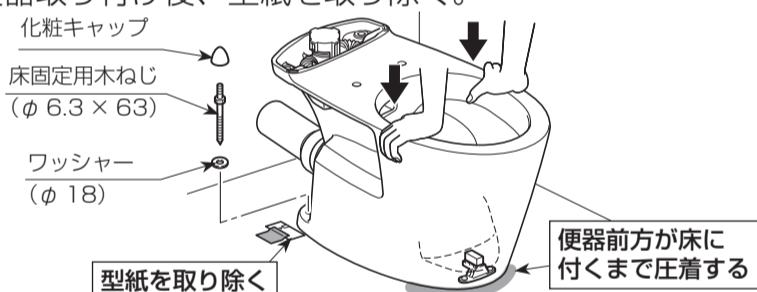
7 便器の取付け

(1) 便器施工芯を確認し、固定用粘着材を便器にしっかりと圧着させるため、便器前方が床につくまで押し下げる。

(2) 便器を床固定用木ねじにて固定し、化粧キャップを取り付ける。

(3) 便器を軽く上方および左右にゆすって、ガタなく固定されていることを確認する。

(4) 便器取り付け後、型紙を取り除く。



△注意

●固定用粘着剤を便器に圧着した後に便器の固定位置をずらさないでください。
※固定用粘着材が落し下し、便器を圧着することができなくなります。

Point 6 ●陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。

※陶器が割れる恐れがあります。
●便器にガタがある場合や固定用粘着剤を再施工する場合は、固定用粘着剤（品番：75-3349）を手配し直してください。

Point 7 ●固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。
※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。

8 タンクまたはシャワートイレの取付け

タンクまたはシャワートイレ同梱の施工説明書に従って取付けてください。

Point 8 ●ディストリビューターの保護キャップは、タンクまたはシャワートイレ取付け直前に必ず外してください。

※施工前に保護キャップを外してしまって、パッキンにゴミが付着し漏水が発生する恐れがあります。

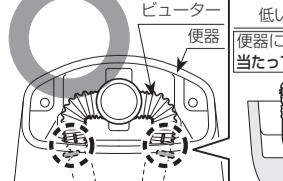


Point 9 ●ディストリビューターの左右の細長いリブが両方とも便器の中に入っていることを確認してください。

入っていない場合、細長いリブを外側に曲げて、便器の中に押し込んでください。
※細長いリブが便器の中に入らないと洗浄不良やタンクの止水不良が発生する恐れがあります。

正しい付け方

[上面]



悪い付け方

[上面]



9 サイドカバーの取付け

詳細は右から読み取って、動画をご覧いただけます。

※通信料はお客様のご負担となります。

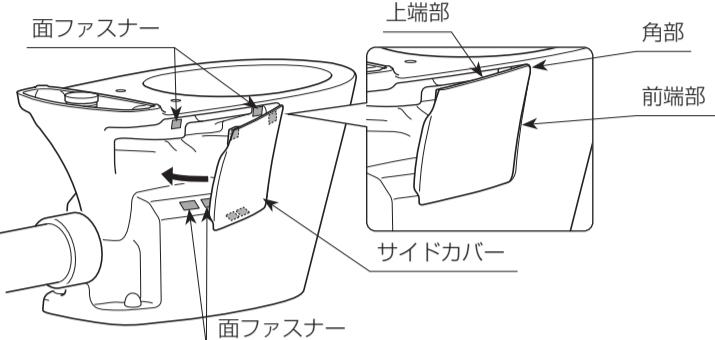
※お使いの環境・端末によっては、閲覧できない場合があります。

※実物と動画のデザインが異なる場合があります。



(1) サイドカバーを取付ける。

サイドカバーの角部と前端部を便器に当て、前端部と上端部の隙間が目立たないように仮付けします。



サイドカバーの上下位置は下記に注意して調整してください。



面ファスナーがはみ出る場合は下げる。
サイドカバーが便器からはみ出る場合は上げる。

サイドカバーの面ファスナー部（左右3か所）をしっかりと押し付けて取付けます。

(2) 固定状況の確認をする。

面ファスナー部を軽く押して取りついていることを確認します。

便器の取付後のご確認

●陶器表面にキズなどがないことを確認してください。

スジ状の線がついた場合には、市販のメラミンスポンジに十分水を含ませ、擦り洗いをして除去してください。それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1時間程度付着した部分にあてて放置した後、布で拭き取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。

※洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。

外観汚れ処置方法について、参考動画があります。

詳細は右から読み取って、動画をご覧いただけます。

※通信料はお客様のご負担となります。

※お使いの環境・端末によっては、閲覧できない場合があります。

※実物と動画のデザインが異なる場合があります。



施工完了後は、必ず試運転をして「漏水検査、水漏れ検査」を行ってください。

検査内容は、機能部の施工説明書を確認ください。

※取付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

施工完了からお客様にお渡しするまでに、凍結の恐れがある場合は、水栓や給水ホースから水を抜いてください。

施工完了からしばらく長期間にわたり通水をしない場合は、トラップに水を入れておいてください。

※排水管からの臭気ガスにより、商品の内部金具がさびる恐れがあります。

給水管接続及び通水検査、水漏れ点検は必ず水道工事店様が行ってください。

Point 7 ●固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。

※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。

不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。

施工終了後 本書を取扱説明書とともに、お客様にお渡しください。